

# iPadでExcel活用術

～こんなときに使うと便利！～

## ① 見積書のミスも出先でパッと修正！

今日は取引先で大事な商談の日。  
出先で資料の最終確認…と思ったら、見つけてしまった見積書の入力ミス！！  
約束の時間まであと30分しかない…  
そんなときiPadがあれば、パッとファイルを開いて、パッとデータを修正できます！  
さらに！専用アプリを使ってコンビニで印刷することも可能です。



## ② 盛り上がる商談！新たな見積書をその場で作成！

取引先での商談中、用意していた見積書とは別の内容の見積もりが欲しいと言われた…  
日を改めて、また新しい見積書を持って来る…？  
そんなときiPadがあれば、その場でデータを入力して見積書を作成できます！  
さらに！その場で見積書のファイルをメールで送付したり、モバイルプリンターがあれば印刷したりすることも可能です。



## ③ メールで送られてきたファイルをその場で確認！

会社や取引先からExcelファイルの内容を確認してほしい、該当のデータを入力してメールで送ってほしいと言われた…  
確認・データ入力・メール送信のために会社に戻る…？  
そんなときiPadがあれば、メールで受信したExcelファイルをその場でパッと開いて確認・編集することができます！  
さらに！編集したExcelファイルをメールに添付して送ることも可能です。



## パソコン × iPad は 棲み分けて使うのがコツ！

「iPadがあるなら、もうパソコンはいらなくなるね！」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、そういうわけではありません。

パソコンのExcelとiPadのExcelには、それぞれ操作するのに適したシーンがあり、そのシーンごとに棲み分けて利用することが、より便利に活用するコツです。

### ●ファイルの作成はパソコンで！

画面が大きくマウスとキーボードで操作できるパソコンのExcelは、大量のデータを入力したり、グラフや表を挿入したり、罫線を設定したりというようなファイルを作り上げていく操作に向いています。

新規でファイルを作成したり、大幅にデータを変更したりというときにはパソコンで操作しましょう。



### ●外出先でのデータ編集はiPadで！

軽くて小さいiPadは、カバンにスッと入るので楽に持ち運ぶことができます。

iPadの場合、電車での移動中やカフェなどいつでもどこでも編集できるので、外出先でのデータの閲覧やちょっとした編集に向いています。あらかじめパソコンで作成して、「OneDrive」に保存しておけば、サッと取り出して、パパッとデータを編集できます。



パソコンでファイルを作成 → (OneDrive) に保存 → iPadでパパッと編集！

memo

#### iPadのExcelでは、未対応の機能がある (2015年3月現在)

iPad版のExcelでは、入力規則やマクロなどの特殊な処理をするものやグラフの詳細なレイアウト設定など、一部の機能については設定することができません。

※ 未対応の機能でもパソコンであらかじめ設定している場合は、iPadでファイルを開くことができます。その点も踏まえて、ファイルの新規作成はパソコンで行ないましょう。

# 2

## ファイルの開き方と保存

まずはじめに、iPadでExcelのファイルを開く方法・保存する方法・閉じる方法について確認しておきましょう。

### ファイルを開く

ここでは、 (OneDrive)からExcelファイルを開く方法をご紹介します。



### ● OneDriveを起動

① ホーム画面の  (OneDrive) をタップ



### ● ファイルを開く

② 一覧から使用するファイルをタップ



Excelが起動して、画面が切り替わります。

次ページへ続く



ファイルが開きました。

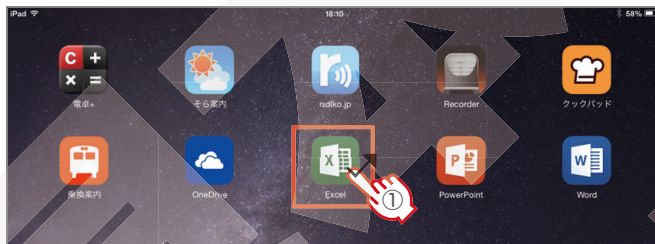
パソコンで例えるなら  
フォルダー内でファイルを  
ダブルクリックして開  
くイメージです。



画面構成については、巻頭 P.0 参照

memo

## Excelからファイルを開く方法



### ● Excelを起動

- ① ホーム画面の Excel をタップ



### ● ファイルを開く

- ② 画面左側の「開く」をタップ
- ③ 使用するファイルがある場所をタップ
- ④ 一覧から使用するファイルをタップ

※ Excelがファイル名をタップしましょう。

↑ をタップすると削除などのメニューが表示されます。何も無いところをタップすると表示を消すことができます。



ファイルが開きました。